

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
1		<p>ナレーター 「今日は1年に一度のお楽しみ、ハロウィンです。人間の世界では、子どもたちが各家庭をまわり、お菓子をもらって歩くのが風習となっていますが、お化けの世界ではちょっと違います。お化けの子ども達は思い思いの格好をして、人間の子もたちを驚かすのです。」</p>	
2		<p>ナレーター 「でも、ここにちょっと変わり者のお化けの子がいます。このお化けの子の名前はジェフ。どんな変わり者かですって？それは、人間を驚かすことが大の苦手だったのです。」</p> <p>ジェフ 「みんな楽しそうだなあ。ぼくもみんなみたいに人間を驚かせたいなあ...」</p>	
3		<p>ナレーター 「ハロウィンの風習はいまや世界に広がっていました。もちろん、この日本でも...。」</p>	
4		<p>理奈 「ねえ、ここからは私ひとりで行ってみていい？」</p> <p>ママ 「いいけど...、理奈ちゃん、肝試しをしているみたいね。」</p> <p>理奈 「いいの！ママは森の出口で待っていて。」</p>	

# [ お化けのクリスマス ]

2

番号	絵	セリフ	音楽
5		ジェフ 「ふいっ、気の弱そうな女の子だぞ。 この子ならぼくにも驚かすことができるかなあ。」	
6		ナレーター 「理奈は、カボチャのランプを持って おそるおそる森に入っていました。」	
7		ジェフ 「この子を驚かすことが出来たら、 学校みんなに言ってやるぞ。ぼくが 本気になればざっとこんなもんさって ね。」  ナレーター 「理奈がお化けのジェフが隠れた木に いよいよ近づいたそのときです！ジェ フは思いっきり息を吸い込んで...」	
8		ジェフ 「お～ば～け～だ～ぞ～～！」	

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
9		(理奈のアップ) ジェフ 「...あれ？」  ジェフ 「おばけだぞ～」	
10		(理奈がうつむいて苦しむ) 理奈 「う～ん...」  ジェフ 「あ...驚かないの？」  理奈 「く...くるしい...」  ジェフ 「どこかケガしちゃったの？」	
11		(落ちたカボチャのランプのアップ) ジェフ 「誰か来てー！」	
12		(お化け学校の校舎)  ナレーター 「次の日。ここはお化けの世界の学校です。お化けの子どもたちは一人前のお化けになるために、ここで毎日勉強をしています。」	

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
13		<p>1つ目くん「みんなさあ、あゆみ診断テストの勉強している？」  おユキ「えーっ、私全然してないわぁ」  リボンちゃん「私もー」  グラネコ「そんなこと言って、けっこう女はやってるんだよなぁ...」</p>	
14		<p>(おユキが強いバージョンに変身)  おユキ「本当にやっていないのよー！悪いのおー!？」</p> <p>1つ目くん、グラネコ  「ひええええ〜！」</p> <p>ナレーター「おユキは興奮すると変化<small>へんげ</small>するタイプのお化けでした。」</p>	
15		<p>スノーマン  「人間語の放送問題はどうかしてほしいよな。」  ドロンちゃん  「そうよね。聞こえにくいのよ。」  カメンくん  「この学校は放送機器が古いからな。そうですよね兄貴！」</p>	
16		<p>(ネコアニキのアップ)  ネコアニキ  「うむ、そうだな...。」</p> <p>ナレーター「このお化けがこのクラスの影のリーダー、その名をネコアニキと言います。」</p>	

# [ お化けのクリスマス ]

5

番号	絵	セリフ	音楽
17		<p>(ネコアニキがマリリンの様子に気づき) ネコアニキ 「どうした？マリリン」</p> <p>マリリン 「ジェフくんが寂しそう」</p>	
18		<p>(ジェフのアップ / 奥手にこちらを見ている仲間)</p> <p>ネコアニキ「ジェフは放って置けよ。もともと暗いやつなんだから」</p> <p>カメンくん「奴にかまっていると、我々まで人間を驚かせないお化けになっちまうぜ。そうですよねアニキ！」</p> <p>ネコアニキ「うむ。」</p>	
19		<p>リボンちゃん「知っている？昨日のハロウィンで、あの子、人間の女の子にケガをさせちゃったんだって！」</p> <p>グラネコ「えー、本当かよ。驚かせないからって、人間を傷つけるのは最低のお化けだね。」</p>	
20		<p>(机にうつ伏せになっているジェフのアップ)</p> <p>マリリン「ジェフくん...」</p>	

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
2 1		<p>マリリン「ジェフくん、お元気？」</p> <p>ジェフ「マリリン...」</p> <p>マリリン「ねえ、私だって初めはなかなか人間を驚かせなくて困ったこともあったの...」</p>	
2 2		<p>ジェフ「でも、マリリンは優等生だよ...」</p> <p>マリリン「ジェフくんだって頑張れば...」</p> <p>ジェフ「ダメだ、僕なんか...。人間の女の子に怪我をさせちゃったし...」</p>	
2 3		<p>(1つ目くん達が割って入ってきて)</p> <p>1つ目くん「そうそう、ジェフはダメダメくんだよ。」</p> <p>マリリン「ちょっと、話に割って入らないでよ！」</p> <p>クイーンちゃん「だって焦れたいんだもの！」</p> <p>おユキ「そうよ、せっかくマリリンが気にかけているのに...」</p>	
2 4		<p>(おユキが怖いバージョンに変化して)</p> <p>おユキ「...ウジウジ何を悩んでいるのよー！？」</p> <p>ジェフ「ぼく、人間の女の子に償いをしたいんだ。」</p>	

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
25		<p>(教室全体がざわつく)</p> <p>ネコアニキ「人間に償いをしたいだと...?」                      カメンくん「何を言い出すんだ、こいつは...」                      ドロンちゃん「私たちお化けと人間は昔から敵同士なのよ!」</p>	
26		<p>(クイーンちゃんの仁王立ち?)</p> <p>クイーンちゃん「そうよ、私たちお化けは明るいところが苦手で、唯一過ごしやすい夜でさえも、照明が町を煌々と照らし、私たちお化けの活動場所がどんどん減ってきているのよ!」</p>	
27		<p>(ネコアニキとカメンくんの決めポーズ)</p> <p>ネコアニキ「その仕返しに人間達を驚かしている我々の行動は、正義の戦いなのだ。」                      カメンくん「もっとも、我々お化けと人間が共存していた時代もあったことを考慮し...</p>	
28	<p>(お化けと人間の共存イメージを挿入する)</p>	<p>...驚かすだけで傷は付けられないという暗黙のルールがあるが...</p>	

# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
29		<p>ジェフ「そのルールを僕が破っちゃったんだ！...だから...償いたいんだ...」</p> <p>(ジェフは涙をポロポロ流す)</p> <p>(シーンと静まりかえる一同)</p>	
30		<p>(マリリン、ジェフをのぞき込むように)</p> <p>マリリン「ねえ、もう一度その女の子に会って見ない？」</p> <p>おユキ「だめよマリリン。お化け学校の生徒が、ハロウィンの夜以外に人間と会うのは禁止されているのよ。」</p> <p>マリリン「だから、そっと様子を見るだけ...」</p>	
31		<p>(マリリン、ジェフの手を引っ張り、教室を出ようとする)</p> <p>ネコアニキ「待て、マリリン！」</p> <p>リボンちゃん「人間の世界で命を落とすと二度と戻ってこれないのよ。」</p> <p>フジちゃん「危険すぎるわ、マリリンちゃん！」</p> <p>マリリン「大丈夫！みんなには迷惑かけないから。行ってきまーす！」</p>	
32		<p>(夜の街。商店街はクリスマスモード満点！)</p>	



# [ お化けのクリスマス ]

番号	絵	セリフ	音楽
3 3		<p>(おもちゃ屋のショーウィンドーにはクリスマスプレゼント用に彩られている)</p>	
3 4		<p>(理奈の部屋。壁にカレンダーが張られている。ベッドから外を眺めている理奈と、そばで編み物をしているママの姿が見える)</p>	
3 5		<p>(カレンダーのアップ。日付に×印が付けられていて、今日はクリスマス3日前であることが分かる。25日には大きく花丸がかかれていて、理奈がクリスマスを楽しみにしていることが分かる)</p>	
3 6		<p>(窓の外から理奈とママを見ている構図)</p> <p>理奈「私の所にもサンタさん来てくれるかなあ...」</p> <p>ママ「理奈はとっても良い子だもの。きっと来てくださるわよ、サンタさん」</p> <p>理奈「理奈、今年こそサンタさんに会いたい」</p>	5分

# [ お化けのクリスマス ]

10

番号	絵	セリフ	音楽
37	(36の続き)	<p>ママ「だめよ理奈...、サンタさんはよい子がぐっすり寝ている間にそっとプレゼントを置いてくださるのよ」</p> <p>理奈「だめだめ、ぜったいサンタさんに会おうの！そしてお願いするの...」</p> <p>ママ「何をおねだりするのかな？」</p> <p>理奈「ママにだけ教えてあげる。あのね...」</p>	
38		(耳打ちしている理奈の姿を窓と同じ高さの木の陰から見ているジェフとマリリンの後ろ姿)	
39	(12と同じ)	(お化け学校の校舎) ナレーター「次の日のお化け学校。」	
40		<p>(ジェフが窓際の席で、外を眺めている)</p> <p>ジェフ「あの子、何が欲しいって言っていたんだろうか...」</p> <p>(声だけ) スノーマン「ジェフのやつ、また何かつぶやいているぜ。」</p>	